



# 港北青指

第47号

令和4年3月発行

発行者  
港北区青少年指導員協議会

編集 広報委員会

事務局

港北区大豆戸町26-1

港北区役所地域振興課内

TEL 045-540-2239

FAX 045-540-2245

港北青指



検索

## 編集前記

港北区青少年指導員協議会広報委員会の委員長を務めさせていただいている水野です。

「港北青指」をご覧いただきありがとうございます。

現在もなお猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響で、みなさんの生活が大きく制限されていますが、青少年指導員も同様に活動自粛やイベントの中止を余儀なくされています。

青少年指導員の活動をお伝えする役割のこの港北青指も、発行すべきか否かを悩みました。

止めてしまうことは簡単ですが、四半世紀近く続けてきた活動でもあり、多くの広報委員からも続けるべきとの意見があつたため、47号も予定通り発行することにしました。

例年であれば、ペットボトルロケット大会がメインの記事となっていたはずですが、今回はデザイン部門のみの実施になりました。河川敷にたくさんのペットボトルロケットが飛び立つ勇姿をお届けできなかつたことが非常に残念です。その代わりに、今年度実施する予定だった新横浜ウォーキングや、各地区で工夫して取り組んでいる活動を紹介します。

早くコロナが収束し、ふだんの日常を取り戻せることを祈っています。(H. M.)

## 港北区オンラインラジオ体操2021夏

令和2年度より慶應義塾大学と港北区が連携して行っている夏のオンラインラジオ体操に、白石会長と吉田副会長がゲスト出演しました。早朝より区役所会議室に集まり、オンライン参加しました。最初は緊張していた2人も、徐々に緊張もほぐれ、楽しみながらラジオ体操と青少年指導員の活動紹介を行いました。(T. K.)



ZOOMにてオンラインラジオ体操に参加する様子



## 2021ふるさと港北ふれあいまつりon-line

新型コロナウイルス感染防止対策として、昨年度に引き続き、今年度も令和3年11月6日(土)～11月21日(日)の期間オンラインで開催されました。

期間中はふれあいまつり特設サイトにて、自治会・町内会、学校、商店街、地域、行政などの関連団体76団体が、それぞれの取り組みや活動を紹介しました。港北区青少年指導員協議会も、2018年度、2019年度に実施した活動を動画で紹介しました。なお、特設サイトは、約30,000件のアクセスがあり、各団体の紹介ページも賑わったのではないかでしょうか。

また11月13日(土)はコアデイとして、横浜アリーナからの生配信が行われました。「あなたの夢を叶えよう！」のテーマのもと、チアリーディングチームや地元高校生の書画パフォーマンスなどが披露され、新型コロナウイルスに負けないオンラインならではのイベントになりました。(H. M.)



青指の活動を動画で紹介



コアデイの生配信の様子

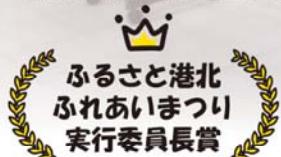
## 第24回 ペットボトルロケット大会 デザイン部門

新型コロナウイルスの影響で会場での打ち上げ中止を余儀なくされた「ペットボトルロケット大会」でしたが急遽「デザイン部門」を港北区役所で開催。

審査会場には前大会の3倍を超える52機の「ペットボトルロケット」が大集合! 皆の思い、発想、工夫を凝らしたロケットに審査も熱が入りました! ロケットの紹介ページはこちら→



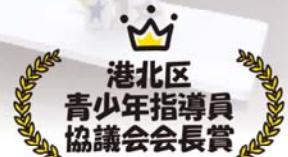
厳正な審査の結果、3つのロケットが表彰されました。



テーマ「もりのツリータワー」  
作者 青木 ほのさん(師岡小学校3年)



テーマ「夢へとびたて!港北ロケット」  
作者 吉村 司さん(菊名小学校6年)



テーマ「宇宙まで飛べ!」  
作者 足田 優斗さん(綱島小学校5年)



### 出品者みんなの一言

ロケットの先を  
金と銀にして  
目立つようにした。

折り紙をはるのを  
がんばった!

がらとかシールを  
えらんで工夫した。

森の中の  
動物たちの  
おうちです。

ほいシールを  
はるのが  
むずかしかった。

色ぬりが  
むずかしかった。

中に花紙をいれ  
海・陸・空・宇宙の  
4つに分けました。

今年の夏は  
コロナのせいであまりいい思い出が  
作れなかったのでロケットに  
来年の思いを乗せました。



☆どれも素敵なロケットばかりで全てを紹介できないのが残念です。

☆作品を作ってくれた皆さん本当にありがとうございました。  
次回もたくさんのご参加をお待ちします。

☆今年こそは大空にペットボトルを  
コロナを吹き飛ばすくらいのロケットを作りたいですね。

飛ばせることに期待大!  
目指せ飛距離100メートルオーバー!  
(Y. F.)

## 青少年新横浜ウォーキング

新型コロナウイルス感染防止対策として、毎年行っている自然体験教室の代わりに近場で実施できるイベントとして、青少年新横浜ウォーキングを予定していました。令和3年9月26日に実施の方へ進めていましたが、緊急事態宣言の期間にかかってしまい、中止することになりました。

新横浜公園は、横浜市で1番面積が広い公園で、新横浜駅から徒歩14分の市民運動公園です。

新横浜公園から日産スタジアム通り、鳥山川に沿って日当たりの良い場所を、草木や野鳥を見ながら、2時間程ウォーキングする予定でした。春は桜の花を楽しめ、冬の天気が良い日は富士山が一望できるコースです。

青少年新横浜ウォーキングを実施する際に、子どもたちがグループに分かれてクイズを解きながら、楽しんでもらうようにミッションを作りました。是非、身近で楽しめる場所なので、ご家族でクイズを解きながら、自然と触れ合い、ミッションに挑戦してみてはいかがでしょうか。（問題用紙と答えは、港北区役所地域振興課45番窓口横にご用意しております。）（K.K.）



篠原地区  
青指で

## 青少年新横浜ウォーキング 体験してきました!!



篠原地区の青少年指導員で、新横浜ウォーキングを体験してきましたので紹介したいと思います。当日は天候も良く最高のウォーキング日和でした。実行委員作成のしおりを片手に元気いっぱいにスタート。

ちょうどこの日は日産スタジアムでイベントが行われており、人出も多かったですが、舗装された道路をゆったりと歩くことができました。安全性も十分ですね。ミッションを確認しながら約5000歩、1時間くらいの行程でした。みなさんもぜひチャレンジしてみてください。（H.M.）



## 地区の活動紹介

令和3年11月20日(土) 港北消防署日吉出張所の田代所長にお越しいただき救命救急の講習会を行いました。日吉地区青少年指導員にて毎年実施している講習会ですが、感染症対策にて参加人数をおさえる等の対策を講じた上で行いました。田代所長より最新情報を含む説明を受けた後に、胸骨圧迫とAEDの取り扱いについて体験しました。救急車が到着するまでの時間を交代しながら胸骨圧迫を続ける体験は、体力と全員の協力が必要で重要な活動のひとつとなりました。

また、日吉地区恒例の「トレジャーウォークラリー」は例年2月末に開催しております。シャーロックに扮したスタッフもいるよ！(H. H.)



救命救急講習



### 日吉

#### 綱島



令和3年11月28日(日) 綱島地区青少年指導員協議会主催で第24回つなしまふれあいグランドゴルフを、スポーツ推進委員の方々にも協力していただき、事前に協議しながら、綱島小学校で開催をする事が出来ました。いつもの大会とは違いが有ります。それはコロナウイルスです。感染者が収まってきたとはいえ、油断出来ません。参加者全員検温・消毒をしてもらい、手に触れる道具類も消毒を施しました。参加者は約50名、小学1~2年生は保護者の方と一緒にご参加いただき、8ホールのコースで2ラウンド。たっぷり楽しめます。初めてプレーする子も多く、苦戦した時も上手くいった時も、プレーを重ねる度に楽しんでいました。私達綱島地区青少年指導員は、次の子どもたちの行事に何が出来るか模索中です。(N. N.)

令和3年12月4日(土)大曾根地区では連合会、商店街、商店会、子ども会、青少年指導員協力のもと、2回目のクリスマススタンプラリーが開催されました。今回の参加者は128名です。大曾根会館を出発し、東横線を潜るとすぐに大曾根商店街です。小さいお子さんが中心のためお父さんお母さん方が付き添い賑やかなスタンプラリーになりました。八百屋、電気屋、洋品店、クリーニング屋、肉屋、焼き鳥屋、食堂、魚屋、食品店、最後に大曾根会館でサンタさんから記念品を受け取りました。落ち着いてきたとはいえ、まだまだコロナ禍のため、クリスマスイベントも少し寒いですが外での開催となりました。商店街を探検して楽しい午後を過ごせたと思います。(A. S.)



### 大曾根

#### 菊名



令和3年度で37回となる新春書き初め大会がありました。対象は小・中学校生です。

例年、地区の10町内会からおよそ300点の力作が集まります。厳正な審査(写真1)により選ばれた、40数点の入賞作品は、我々が丁寧に仮巻に貼り、菊名地区センターに掲示し、地区の方にも観て頂きます。昨年度は感染症を考慮し、入賞者の表彰式を中止し、その代わりに入賞作品一覧(写真2)を作りました。表彰状と共に入賞者に渡し、各町内会にお知らせしました。時代を探り新しい形にしながら長く引き継いでいく行事です。(K. K.)

凧々あがれ！天まであがれ！

毎年1月に鶴見川河川敷と川沿いの土手にて「新春こども凧揚げ大会」を開催しています。小学生以下の子どもたちには昔懐かしい“やっこ凧”を無料で配布いたしますので、自分たちでしっぽを付けて、糸を結んで凧を空へ。風に乗せてうまく揚げる子(大人)、凧糸を持って一生懸命走り回る子(大人)、など皆さまざま。ひとしきり遊んだ後は青指特製豚汁で体の芯から温まっています。“年の始めの例(ためし) とて”年に一度のお正月のひと時を寒さに負けず、皆元気に楽しく過ごしていただけたらよいなと思います。(T. K.)

令和3年の「新春こども凧揚げ大会」はコロナ禍により中止になりました。

令和4年は1月9日に感染対策をしっかりとった上で開催しました。



### 新吉田

